



## 日本の中心から世論の喚起を

—北方領土返還要求中央アピール行動—

いの声に代え、四島を返せと力強く行進する。」と決意が示され、参加者はそれぞれ北方領土早期返還への想いを胸に、銀座に向けて一歩を踏み出しました。

アピール行進は、長谷川市長をはじめ高橋知事、藤本内閣府副大臣、榛葉外務副大臣、加賀谷内閣府大臣政務官を先頭に、参加者は時折小雨が降る中、日比谷公園から京橋プラザ区民会館前までの約2・2キロの距離を、根室管内1市4町の町旗と47都道府県の県旗を掲げながら「北方領土を取り戻そう」「四島を返せ」などのシュプレヒコールとともにこぶしを突き上げ、約45分間にわたって銀座の中心街を行進。沿道から見つめる人たちに一日も早い返還実現と世論の結果を訴えました。

今から67年前、当時の安藤石典根室町長が連合国最高司令官マッカーサー元帥に対して陳情を行い、「返還要求運動始まりの日」となった12月1日。北方領土問題早期解決を実現するため、返還運動原点の叫びを国内外に発信することを目的に、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会主催の「北方領土返還要求中央アピール行動」が、東京・銀座を中心に元島民や根室管内1市4町の首長や議長をはじめ全国の返還要求運動関係者総勢77団体、約500人が参加して行われました。

日比谷公園大音楽堂で行進に先立って行われた出発式では、主催者を代表して長谷川市長から「返還運動原点の地として、いかなる困難に遭おうとも返還要求運動にまい進していく。」と力強く訴え、今回初参加となった高橋北海道知事からは「政府の外交交渉を後押しするためには、国民世論の結集が必要。北海道としても返還要求運動を積極的に推進していく。」と、決意が述べられました。また、元島民を代表して宮谷内亮一さんからは「返還が叶わない怒りと無念の想いを希望と願



還らぬ四島への悲痛な想いを訴える国後島出身の宮谷内さん



### 幸運射止め、忘れられない思い出に

—ニホ入館者50万人達成11/27—  
平成12年2月7日「北方領土の日」にオープンした「道立北方四島交流センター（ニホロ）」で、入館者数50万人達成を記念したセレモニーが行われました。

記念すべき50万人目の来館者となったのは、根室市と東海大学海洋学部との相互協力協定の調査委託を受け、埼玉県から来根していた武田淳さん。施設職員や関係者の拍手とともに館内へ迎え入れられた武田さんは、記念品として長谷川市長から根室産の海産物の詰め合せが手渡され、「根室での忘れられない素晴らしい思い出になりました。」と、思いがけない歓迎に驚きつつも笑顔で喜びを話しました。

### 改良版サンマフライ大好評

—サンマフライ学校給食提供11/27・29—  
根室市と東海大学海洋学部との相互協力協定による共同研究の一環として進められている「根室産サンマフライ」の試作品が、市内の小中学校の給食に提供されました。

今年の2月に実施した学校給食提供での意見を参考に、匂いの元となるサンマの頭と内臓除去し、衣のサクサク感を加えるなどの改良を行い、今回の試食に臨みました。

児童、生徒たちは、一緒に提供されたパンにサンマフライをはさみ、マヨネーズやチーズをトッピングして食べ「すごくおいしい！」といった声があちこちから上がり、関係者は前回以上の手ごたえを感じていました。

